

2022年度 現代文B (2年) シラバス

科目名	単位	学年	必修、選択	対象コース
現代文	2	2	必修	全コース

1 目標

- (1) 近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。
- (2) 1年次に学習した「知識・理解」をもとに「読む能力」をより深め、それとともに「話す・聞く能力」「書く能力」の学習をバランスよく取り入れて国語に対する「関心・意欲・態度」を涵養することで、すべての学習・社会生活・人間関係を支える言語的基礎力を養う。

2 授業概要、到達目標

- (1) 論理的な文章を読み、論理の展開や要旨を的確にとらえる。
- (2) 文学的な文章を読み、人物・情景・心情などを的確にとらえ、表現を味わう。
- (3) さまざまな文章を読み、人間・社会・自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。
- (4) 語句の意味・用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。
- (5) 目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用して、すすんで表現する。
- (6) 近代文学における古典的作品の読解とそのために必要な知識事項を理解する。
- (7) 課題に応じて、グループ学習や調べ学習、レポート作成などを実施する。

3 評価について

(定期テスト)

1. 2学期は中間・期末テスト、3学期は学年末テストを実施する。出題は授業を主体とする。

(提出物)

授業の進度に応じ、授業中または自宅学習用ワークシート、課題作品、ノート等を提出する。

(授業)

授業への出席状況および取り組み状況によって総合的に判断する。

(小テスト)

教材や状況に応じて理解確認のためのテストを実施する。

(評価の方法)

定期テスト80% 授業提出物20%

4 使用教科書・副読本

東京書籍「新編 現代文B」(2 東書 現B321)

「カラー版新国語便覧」(第一学習社)「漢字トレーニング」(いっぴな書店)

5 授業の展開と形態

7, 8組は単独で授業を実施し、1, 2組、3~6組は習熟度別展開授業を行う。

6 学習方法および留意点

- (1) ノートをしっかりととる。
- (2) 集中して授業に取り組む。
- (3) 学習プリントなど提出物は必ず提出する。

7. 授業計画

学期	月	単元・教材名	目標・学習活動等	評価方法等	配当時間
1	4	随想 こそそめ スープ	【目標】 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせよう 1 筆者の思いの変化に注意しながら、本文を通読する。 2 第一段での筆者の「こそそめスープ」への思いを理解する。 3 「こそそめスープのある世界」は、筆者にとってどのようなものであるかを理解する。 4 「自分の作り上げた異世界」について理解する。 5 第三段から筆者の人間に対する考え方を読み取り、まとめる	ノート・ワークシート・話し合いの観察・発表内容・定期考査	6
		意見文を書こう 弁論大会に向けて	【目標】 根拠を明確にして意見を述べよう。 1 テーマについてさまざまな角度から検討し、根拠を明確にして自分の意見を述べる。 2 調査や情報収集、材料整理の方法を習得する。 3 書き上げた文章を、お互いに評価する。	作品 校内弁論大会	4
	5	小説 ナイン	【目標】 小説の時代背景を想像しつつ、登場人物の人間関係とその心情を読み取る。 1 全文を範読（朗読）した後で第一印象を書き発表。 2 全体の語り手、登場人物、話題の人物をまとめたうえで、全体を三つに分ける。 「わたし」と中村さんの関係を読み取る。 3 中村さんの少年野球団への思いを読み取る。 4 新道の変貌を、「わたし」の印象の変化を通して読みナインの消息を整理する。 5 中村さんの正太郎への思いを読み取る。（手引き ³ ） 6 正太郎がナインにどのようなことをしたか読み取る子の関係を、仕事のうたと正太郎に対する思いの二面から読み取る。 7 正太郎に対する英夫の考えを読み取る。（手引き ⁴ ） 8 英夫の語る「あの日」の真実を読み取る。 9 中村さん宅を辞した後の「わたし」の行動について考える。	ノート・ワークシート・話し合いの観察・発表内容・定期考査	6
		随想 さくらさくら さくら	【目標】 引用歌や体験談に注意しながら、桜に対する日本人独特の感性について理解を深めよう。 1 花の中での桜の位置を考える。 2 日本人の桜への思い入れについて考える。 3 筆者の短歌三首の内容と心情を考える。 4 桜に対する筆者の考えや思いを把握する。 5 桜について各自の感想を述べ合う。	ノート・ワークシート・話し合いの観察・発表内容・定期考査	6
		2	9	詩歌 一つのメルヘン I was born ふうふう紙を… 信濃路	【目標】 様々な形式の詩歌を読み味わい、そこに込められた作者の心情について考えよう。 1 それぞれの詩の形式や特徴を理解する。 2 詩に込められた作者の心情について鑑賞する。 3 詩を読んだ鑑賞文を書く。 4 鑑賞文を評価し合う。
11	10	小説 旅する本	【目標】 「旅する本」という表現に込められた寓意を把握して、「本」について考えを広げよう。 1 「本」の姿と、それを読む人との関係に注意しながら読む。 2 特徴的な表現技法や比喻表現を確認する。 3 表現に注意して内容や人物の心情を捉える。 4 全体を通して、「本」とはどのようなものかと言えるか考える。 5 この小説を最初に通読した時の感想と、学習後の感想がどのように変わったか話し合う。	ノート・ワークシート・話し合いの観察・感想文・定期考査	10
	11	評論 安心について	【目標】 文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考えよう。 1 全体を読み直し、これまでの内容を振り返り、「子どもにとっての安心」と、「老人にとっての安心」との共通点を考える。 2 筆者の主張の妥当性について、各自で考えをまとめ、話し合ってみる。	ノート・ワークシート・話し合いの観察・発表内容・定期考査	11

	12	小説 こころ	<p>【目標】人間関係における人物の心情を的確に把握して、人の心のありようについて考えを深めよう。</p> <p>1 夏目漱石についての知識を整理する。</p> <p>2 「こころ」についての概説と、本教材にいたるあらすじを読み、人物の関係を理解する。</p> <p>3 本文を話の展開にしたがって幾つかの意味段落に分け、それぞれの内容を大まかに把握する。</p> <p>4 Kの「精進」の内容を整理し、彼がどのような精神生活をしてきたかを捉える。</p> <p>5 Kの「覚悟」の意味について推測し、話し合う。</p> <p>6 「黒い影法師のような」姿のKは、「私」に何を伝えたかったのか、また、それを「私」はどう受け止めたのかを、これまで学習した範囲の中でまとめ、話し合う。</p> <p>7 「私」に、Kが「立派」に見えたのはなぜかを考える。</p> <p>8 の自殺を知った時の「私」の行動・心理を整理し、なぜ「私」が「黒い光が、私の未来を貫いて、…全生涯をものすごく照らしました。」と感じたのかを考える。</p> <p>9 場所・時などの変化に注意して事の経緯をまとめ、「私」とKの性格や生き方の違いについて考えて、全体を振り返る。</p> <p>10 この小説の主題について、考えたことを話し合う。</p>	ノート・ワークシート・話し合いの観察・発表内容・定期考査	13
3	1				
	2	働くよろこび 楽に働くこと、楽しく働くこと	<p>【目標】楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解しよう。</p> <p>1 本文に述べられている「楽に働くこと」と「楽しく働くこと」の違いに注目しながら、本文を通読する。</p> <p>2 近代の工場での労働の「楽さ」と「楽しさ」についてまとめる。</p> <p>3 内山節と白鷹幸伯の著作について書かれた内容を整理し、筆者がこの二冊を薦める理由を理解する。</p>	ノート・ワークシート・話し合いの観察・発表内容・定期考査	7
	3	情景のなかの労働	<p>4 対比的に用いられている「働く」と「稼ぐ」という言葉の意味を押さえながら、本文を通読する。</p> <p>5 筆者の言う「『仕事』の世界が作り出した景色の美しさ」を理解する。</p>		
		鉄、千年のいのち	<p>6 筆者の言う鍛冶屋の楽しみを理解し、和釘づくりが「歴史への参加」だという考え方を理解する。</p> <p>7 単元のまとめとして「働くよろこび」について考えたことを話し合う。</p>		